

講義名	業界研究（製造業）			授業形態	
担当教員	持田 信治	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

講義は製造業に関して理解を深めてもらい、物の価値を創造したり、ものの価値を高める手法の実際を知ることを主題とする。そこで、本講義では以下の観点から企業の方々に話を伺う。そして、本講義は本学のディプロマポリシーに沿って、企業経営や組織行動に従って発生する課題や問題に対する、論理的な思考に基づいた具体的な改善策や解決策の提案ができる能力の醸成に寄与する。

(1) ものを創造して価値を生み出す方法について。
(2) 高度なものをつくる場合の進め方について。
(3) メカとソフトウェアの組み合わせを持つものづくり方について。
(4) ものを造るのではなく、要求に合うものを探していく場合の進め方について。
(5) ものづくりとブランド構築について。

製造業に興味のある学生の受講を希望する。

到達目標

製造業の実際と状況についての理解を深めることを目標とする。具体的には本講義を受講することにより製造業が持つ組織や働きについて理解を深め、製造業に関して正しいイメージを持ち、製造業の活動について説明できるようになることを目標とする。加えて、者の価値とユーザーの関係を理解することを目標とする。

提出課題

講義内容に関するレポートの提出を要求することがある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

必要に応じて、適宜課題に関する解説とフィードバックを行う。また必要に応じて講義内で説明を行う。

評価の基準

本講義の評価は授業への参加度（50%）と講義内容に関する小テスト又は課題（50%）とする。また、授業への参加度には発表、発言を考慮する。ただし発表と質問については建設的な質問や意見を期待する。特に自主学習が推奨される質問や意見は評価する。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は外部から講師を招くため、最低限のルールを守ることを求める。遅刻、私語、飲食は厳禁とする。またカンや飲食物物を机の上に並べること及び授業途中での退席はしないこと。最低限のルールができていない学生は、受講を認めない場合もある。また、質問を行う等の積極的な参加を期待する。

教科書

参考図書

.なし.

その他

使用しない。

授業計画

第1回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（120分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（120分）。

第2回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（121分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（121分）。

第3回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（122分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（122分）。

第4回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（123分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（123分）。

第5回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（124分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（124分）。

第6回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（125分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（125分）。

第7回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（126分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（126分）。

第8回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（127分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（127分）。

第9回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（128分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（128分）。

第10回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（129分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（129分）。

第11回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（130分）。
復習：講義中は講義ノートを取る。講義ノートには講義のポイントやキーワードを記載する。そして復習では講義の最後に出された演習及び講義ノートを使用して、講義内容を確認する。質問があれば講演者への質問フォームに記載して送信する（130分）。

第12回テーマ(決定次第連絡)
予習：シラバスに記載された講師のテーマについて関連事項を確認する。加えてRYUKAポータルやキャンバスクロスにUPされた資料があれば確認する（131分）。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目はディプロマポリシーにある、学生の志望に応じて特定の専門分野を深く学ぶための能力を身に付けることに寄与する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
本講義では実務に従事する講師の経験を生かした具体的例の説明を通して、現場での課題の解決方法に関するヒントを得る。

備考

外部招聘講師のテーマと担当日程が決まり次第、公開する。